

「頭痛を有する労働者におけるワーカホリック傾向の検討：QWLIC スタディより」

に対するご協力をお願い

研究責任者 若泉 謙太
慶應義塾大学医学部 麻酔学教室

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、研究対象者さんへの新たな負担は一切ありません。また研究対象者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

2015 年に実施させていただいたアンケート調査、「産業界における慢性痛の実態調査研究（UMIN 試験 ID：UMIN000018099）」にご協力いただいた方

2 研究課題名

承認番号 20251023

研究課題名 頭痛を有する労働者におけるワーカホリック傾向の検討：QWLIC スタディより

3 研究組織

<u>研究機関</u>	<u>研究責任者</u>
慶應義塾大学医学部麻酔学教室	若泉謙太

4 本研究の目的、方法

前回の研究（産業界における慢性痛の実態調査研究）では、仕事に影響する慢性痛群は、ワーカホリック度の高さ、上司・同僚からの支援の乏しさ、仕事の満足度の低さ、仕事の要求度の高さ、仕事のコントロール度の低さなどと有意な関連性があったことを認めましたが、疼痛部位別でのこれらの関連性については未だ不明だった。そこで、今回の研究では頭痛を有する労働者とワーカホリズムとの関連性を調査し、そのリスク因子を検討することを目的とする。本研究では、頭痛を有

する労働者とワーカホリズム（過度に働くことの衝動性）との関連性を調査し、そのリスク因子を検討する目的として、2015 年に実施された調査された自己記入式アンケートのデータ（年齢、性別、身長、体重、生活習慣や仕事・日常のストレス、身体の痛みなど）を使用し、統計解析を実施します。なお、個人が特定される情報は一切使用いたしません。

5 協力をお願いする内容

2015 年に実施させていただいたアンケート調査の既存データを使用するため、本研究においてはご協力していただくことは、特にございません。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2026 年 3 月 31 日

7 外部への試料・情報の提供

新たに研究を追加する必要が出てきた場合は、情報を保存し、改めて倫理委員会の申請・承諾を得ることといたします。その際、情報は匿名化したまま保存し、研究者は通し番号に応じた情報のみで研究を行います。今後、今回の実施した質問票の結果を使った異なる研究を新しく行う場合が考えられます。その際には匿名化した情報を使用させていただく場合があります。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

【若泉 謙太・慶應義塾大学医学部麻酔学教室・連絡先電話番号 03-5363-3810】

以上